

今後の公共施設等のコスト管理に関する取組方針

1. コスト管理をめぐる状況

- (1) 「財政再建推進プラン」から「今後の財政運営の指針」へ
財政再建に「一つの区切り」をつけて、新たなステージに移行
(マイナスシーリングからゼロシーリングへ)
 - ①中長期的な視点を重視
 - ②各局の主体的取組の推進
- (2) 公共施設等の品質確保
「公共工事の品質確保の促進に関する法律(平成17年4月)」の施行
- (3) 「10年後の東京」を展望した新たな課題への対応
例 : ①CO₂削減、緑化の推進 ②渋滞のない都市
③震災に強いまちづくり
- (4) 総合的なコスト管理
例 : ①環境負荷低減などの社会的コスト
②事業効果の早期発現などの時間的コスト

2. 今後のコスト管理に関する取組方針

- (1) 今後の課題
 - ①中長期の視点に立ったコスト管理の導入
 - ②具体的なコスト削減方策の普及と活用
 - ③各局の事業内容に適合したコスト管理
 - ④総合的なコスト管理の実施
- (2) 目標 ～ 量的縮減のみでない総合的なコスト管理の確立へ ～
 - ①「10年後の東京」を展望した新たな課題に対応していくため、公共施設におけるライフサイクルコストの最小化を図るとともに、社会的コストなどを含めた総合的なコスト管理の実施をめざす。
 - ②各局のコスト管理に関する計画及び実績の検証を行い、全庁的なコスト管理のマネジメントサイクルを確立する。
 - ③全庁一律のコスト削減数値目標は設定せず、各局が主体的にコスト管理に取り組む。

(3) 取組内容

①中長期の視点に立ったコスト管理の実施

<具体的取組例>

- ・施設の長寿命化に資する設計
- ・維持管理費の低減など、ライフサイクルコストに配慮した設計

②これまでの取組の継続的实施と効果的な取組の全庁的な活用

<具体的取組例>

- ・プレキャスト製品（汎用品）の採用
- ・設計の標準化
- ・VE、総合評価方式など民間の技術力を活用した契約制度

③環境対策や震災対策など新たな課題への取組

<具体的取組例>

- ・省エネ東京仕様2007の活用
- ・ユニバーサルデザインのまちづくり

④総合的なコスト管理の取組

<具体的取組例>

- ・環境負荷低減効果などの評価方法の検討

3. 今後の進め方

- (1) 本方針を踏まえ、部会において取組内容の詳細について協議し、コスト管理に関する実施要領を作成する。
- (2) 各局は、本方針と実施要領に基づきコスト管理計画を作成する。
- (3) コスト管理委員会は、各局の当該年度の実績を集計・検証し、翌年度以降の取組に反映する。